

2014年3月期 第2四半期決算説明

2013年10月31日



三井造船株式会社

MITSUI ENGINEERING & SHIPBUILDING CO.,LTD.

将来の業績に関する予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

14年3月期 第2四半期決算のポイント

●通期業績予想の上方修正

●受注環境の好転

- 石化プラント建設計画の増加
- 物流運搬機の新設 / 代替需要
- 活発な海洋開発投資
- 新造船の回復基調

14年3月期 第2四半期決算のポイント

●通期業績予想の上方修正

(単位:億円)

	2 Q 累計		増減
	期初計画	修正後	
売上高	2,800	2,900	100
営業利益	50	70	20
経常利益	60	100	40
四半期純利益	15	30	15

(単位:億円)

	4 Q 累計		増減
	期初計画	修正後	
売上高	6,500	6,600	100
営業利益	140	160	20
経常利益	150	170	20
四半期純利益	50	70	20

為替が想定（95円）よりも円安で推移したことや原価低減施策による利益改善が要因

14年3月期 第2四半期決算のポイント

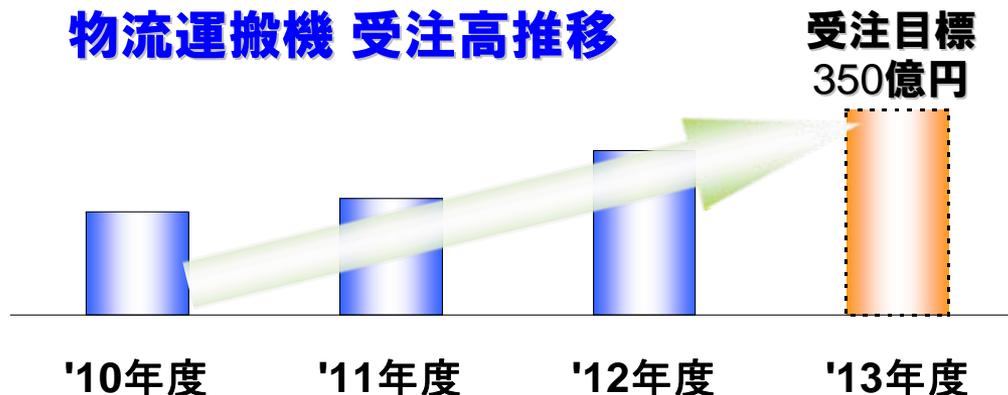
●受注環境の好転

エンジニアリング（石油化学、発電）：

シェールガス由来の石油化学プラントやシンガポール向け石油化学プラント、バイオマス発電等、案件豊富。

物流運搬機：

東南アジアを中心に、国内外で多くの引き合い。
 代替需要がベースであり、少なくとも10年は堅調と予想。



14年3月期 第2四半期決算のポイント

●受注環境の好転

海洋事業：

海洋油田・ガス田開発プロジェクトがブラジルやアフリカ沖で多数具体化し、引き続き旺盛な海洋開発需要。

新造船

2012年度は上期ゼロだった受注が、下期に入って徐々に成約し、商船の受注が6隻だったが、2013年度は上期で既に昨年を上回っている。受注環境回復の兆しが現実となりつつあるものの、船価は依然厳しい。

一般商船の受注隻数推移

	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
12年度	0	0	2	4	6
13年度	5	3			8

14年3月期 第2四半期決算のポイント

(単位:億円)

	1 2 2 Q 実績	1 3 2 Q 期初計画	1 3 2 Q 実績	前年 同期比 増減	計画比 増減
受注高	1,840		1,849	9	
売上高	2,675	2,800	2,767	92	△33
営業利益	96	50	81	△15	31
経常利益	98	60	119	21	59
四半期 純利益	30	15	40	10	25

US\$期末日
レート 77.60

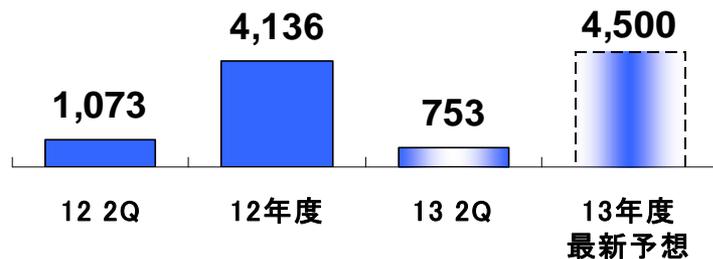
97.75

US\$実績
レート 77.83

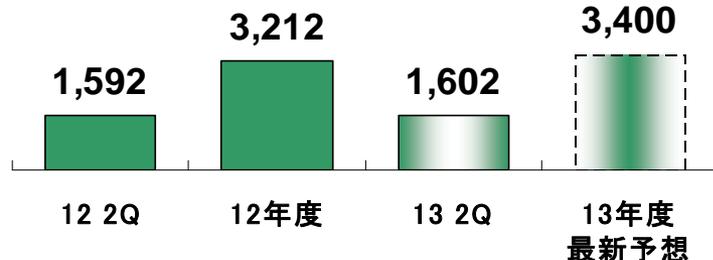
92.38

(単位：億円)

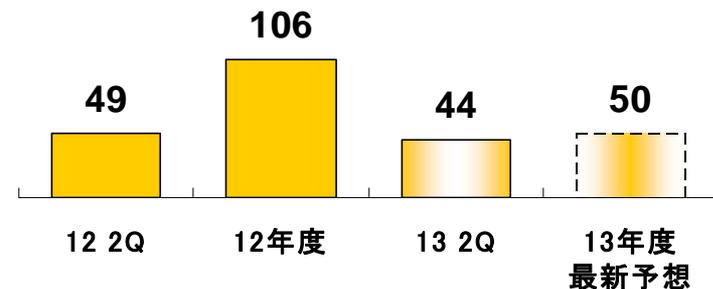
受注高



売上高



営業利益



受注高

単体では、前年2Qの1隻に対し、ばら積み船8隻受注。子会社では、ばら積船2隻の他、漁船、練習船を受注。新造船は、船価水準は依然として低いものの、引合は戻り始めている。

海洋関連では、事業環境良好の中、MODECが大型案件の年度内受注に向け活動中である。

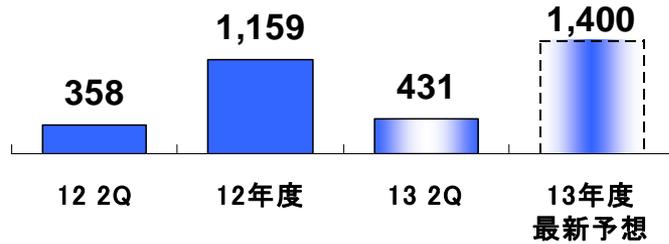
売上高 / 営業利益

新造船は減少するも、MODECの増加により前年並みとなった。

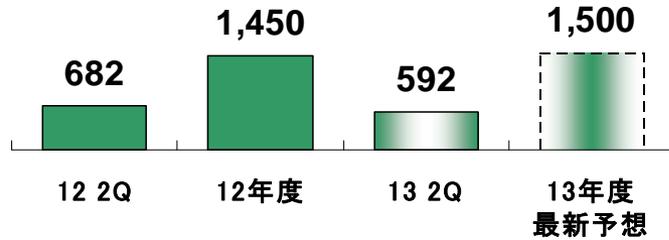
一定水準の手持ち工事を確保していることから、引き続きコスト削減効果の向上に努める。

(単位：億円)

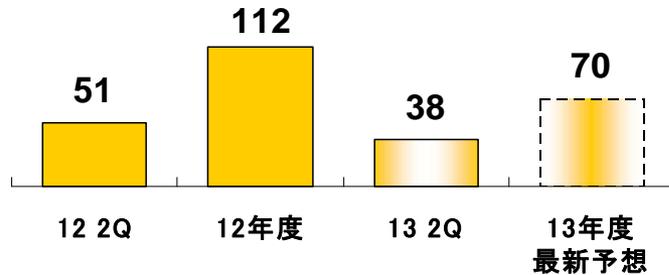
受注高



売上高



営業利益



受注高

船用ディーゼル機関は、生産枠取りとしての操業量は14年度末まで確保できている。

物流運搬機は国内外できわめて好調であり、下期も国内、東南アジア、アフリカ等の案件を確保していく。

産業機械は発電、石油精製向け需要が堅調の中、円高修正で国際競争力は回復しているが、依然、厳しい価格競争は続いている。

売上高

船用ディーゼル機関の減少が響き、前年2Q比90億円の減少となった。

営業利益

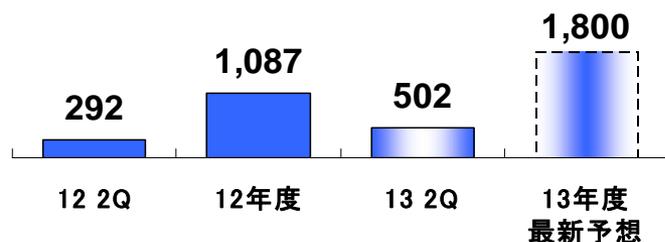
船用ディーゼル機関本体の採算は引き続き厳しいものの、アフターサービス事業の安定的な利益があることに加え、好調な運搬機での利益の上積みをはかることで、計画値の達成を図る。

ご参考：船用ディーゼル機関

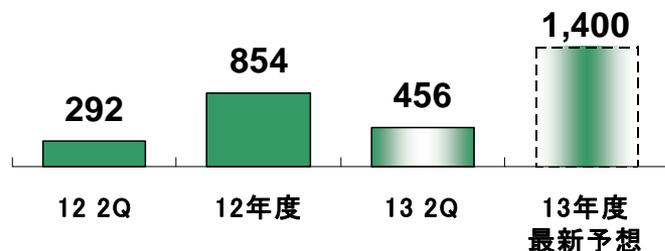
	12 2Q累計		12年度累計		13 2Q累計	
	基数	万馬力	基数	万馬力	基数	万馬力
受注高	18	34	126	232	10	19
売上高	93	197	190	386	67	149
受注残	124	326	112	249	95	233

(単位: 億円)

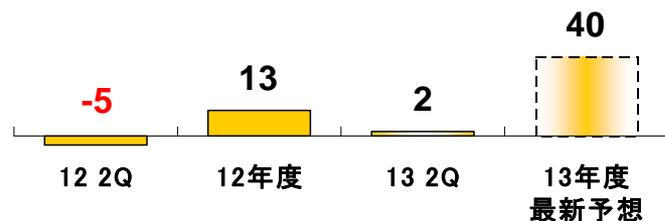
受注高



売上高



営業利益



受注高

9月にトルクメニスタン向け硫酸プラントを調印。
BWSCはディーゼル発電設備を2件受注し、
バイオマス発電事業にも参画するなど引き続き好調。
豊富な案件を背景に、通期での計画達成を目指す。

売上高

受注が下期にずれ込んでいることから売上高の
進捗は低いものの、受注済み工事の着実な遂行や、
BWSCの増収により前年比164億円増となった。

営業利益

受注環境好転を取り込んで、工事量が増加しており、
営業損益は黒字に転換。

ご参考: 連結受注高・売上高内訳

億円	12 2Q累計		12年度累計		13 2Q累計	
	石油化学	環境 インフラ他	石油化学	環境 インフラ他	石油化学	環境 インフラ他
受注高	117	175	576	511	68	434
売上高	116	176	413	441	219	237

トピックス: 14中期経営計画基本方針

持続的成長と収益安定性を兼ね備えた
バランスの取れた事業ポートフォリオの実現

基本方針

戦略の柱1

製造事業
の变革

戦略の柱2

エンジニアリング
事業の拡大

戦略の柱3

事業参画・
周辺サービス
事業の拡大

経営基盤の強化

トピックス： 製造事業の変革①エコシップ

エコシップ1番船引渡し

■CO₂ 30%削減船を大きく3段階に分けて開発

◆新規市場の開拓を目指してチャレンジング・コンセプト

- ・新ジャンルの幅広・浅喫水船型：neo66BCを2010年に市場投入
- ・市場低迷下でも反響大、2011年に1番船受注 ⇒ 本年11月就航

◆既存市場の足固めを目的としたトラディショナル・コンセプト

- ・既存パナマ運河対応の190m船型：neo56BCを市場投入

◆成長市場を見据えたトレンドィ・コンセプト

- ・載貨重量を増強した全長200m船型：neo60BCを市場投入

■neo56 / neo60 / neo66各10隻以上を受注（内定船含む）

◆neoシリーズ3船型合計39隻

■超ヒットシリーズ従来型56BCで培った市場からの信頼

◆「本当に使えるエコシップ」として、引合が後を絶たない

■大型船、LNG船でもトップクラスの省エネ性能を目指して開発中

戦略の柱1

製造事業
の変革

トピックス： 製造事業の変革② ME-GI機関

ME-GI機関 製造体制を確立

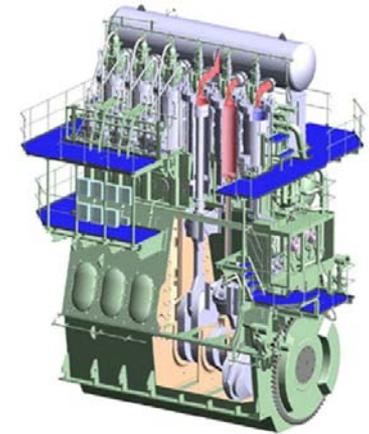
【ME-GI機関の特徴】

従来の重油焚き機関と比べて

- ・ 酸性雨の原因となるNO_x、SO_xの排出量が少ない
- ・ CO₂など温室効果ガスの排出量が少ない
- ・ 健康被害をもたらす粒子状物質（PM）の排出が少ない

中速ガスエンジンと比べて

- ・ CO₂の数倍の温室効果要因となるメタンスリップの排出がほとんどない



本年4月にデモンストレーション運転を実施
 ガス燃料供給システム（FGSS）を含めたガスインジェク
 ションディーゼル（ME-GI）機関の製造・運転体制
 および、統合的な制御システムを整備し、製造体制を確立

戦略の柱1

製造事業
 の変革

環境負荷の低減、シェールガス開発による天然ガス利用の拡大等に期待

トピックス：エンジニアリング事業の拡大① 海洋事業

海洋事業推進部の新設

14中計の方針である海洋事業の拡大をスピード感をもって遂行するために、海洋分野で全社に働きかけを行うことを目的に、13年11月1日発足

強みのある海洋資源開発設備・機器を事業化

国家プロジェクトに参画、国内資源開発に貢献・事業化

海洋資源開発分野で、当社EPC能力と各種製品をコアとして、上流から下流までの複合的なビジネスモデルの創造を目指す

研究開発投資

“Generic FPSO” の開発

- ・ 製造中の仕様変更に対応可能な標準FPSO船体を開発
- ・ MODECの改造ビジネスに新造OPTIONを追加
(改造用中古シングルハルタンカー枯渇に対応)

FPSO TOPSIDEの開発

- ・ 詳細設計技術を確立
- ・ 更に標準化、高品質・低価格化検討技術で差別化を図る

戦略の柱2

エンジニアリング
事業の拡大

トピックス: エンジニアリング事業の拡大②
事業参画・周辺サービス事業の拡大

エンジニアリング事業の拡大

石油化学:

シェールガス由来の石油化学プラント
シンガポール向け石油化学プラント

シェールガス革命を
引き金に化学プラント
建設計画の増加

発電:

英国向け木屑焚きバイオマス発電
英国向けわら焚きバイオマス発電
大分事業所でのメガソーラー ほか

固定買取制度により、
再生可能エネルギーの
需要増

M E S A S I A の 設 立

- ASEANマーケットの主要拠点
- 現地顧客へのアフターセールスサービス
- 石油化学プラントの現地工事、O&M
- グローバル事業の展開加速/拡大を目指す

戦略の柱2

エンジニアリング
事業の拡大

戦略の柱3

事業参画・
周辺サービス
事業の拡大

14年3月期第2Q 連結損益計算書

(単位:億円)

	12第2Q		13第2Q		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	2,675	(100.0%)	2,767	(100.0%)	92
売上原価	2,380		2,469		
売上総利益	294		298		
販売費及び一般管理費	199		217		
営業利益	96	(3.6%)	81	(3.0%)	△ 14
営業外収益	33		76		
営業外費用	30		38		
経常利益	98	(3.7%)	119	(4.3%)	21
特別利益	0		8		
特別損失	29		31		
税引前利益	69	(2.6%)	97	(3.5%)	28
法人税等	34		40		
少数株主利益	5		17		
四半期純利益	30	(1.1%)	40	(1.4%)	10

14年3月期第2Q 連結貸借対照表

(単位: 億円)

	12期末	132Q末	増減		12期末	132Q末	増減
流動資産	(3,536)	(3,672)	(136)	支払手形・買掛金	1,362	1,395	33
現預金	866	837	△ 29	前受金	541	617	76
受取手形・売掛金	1,611	1,513	△ 98	有利子負債	1,483	1,704	221
仕掛品	311	402	92	その他	1,146	1,081	△ 65
その他	748	920	172	負債合計	(4,531)	(4,797)	(266)
				資本金	444	444	-
				資本剰余金	182	182	-
固定資産	(3,068)	(3,364)	(296)	利益剰余金	955	974	19
有形固定資産	1,919	2,004	84	自己株式	△ 7	△ 8	△ 0
無形固定資産	119	125	6	その他包括利益累計額	183	283	100
その他	1,030	1,236	206	少数株主持分	317	364	47
				純資産合計	(2,073)	(2,239)	(166)
合計	6,604	7,036	432	合計	6,604	7,036	432

セグメント別業績見通し

(単位：億円)

セグメント	12第2Q			13第2Q			13年度最新予想		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
船舶海洋	1,073	1,592	49	753	1,602	44	4,500	3,400	50
機械	358	682	51	431	592	38	1,400	1,500	70
エンジニアリング	292	292	△5	502	456	2	1,800	1,400	40
その他	119	108	0	163	117	△2	300	300	0
合計	1,841	2,675	96	1,849	2,767	81	8,000	6,600	160

13年度最新予想は 13年10月28日発表時点

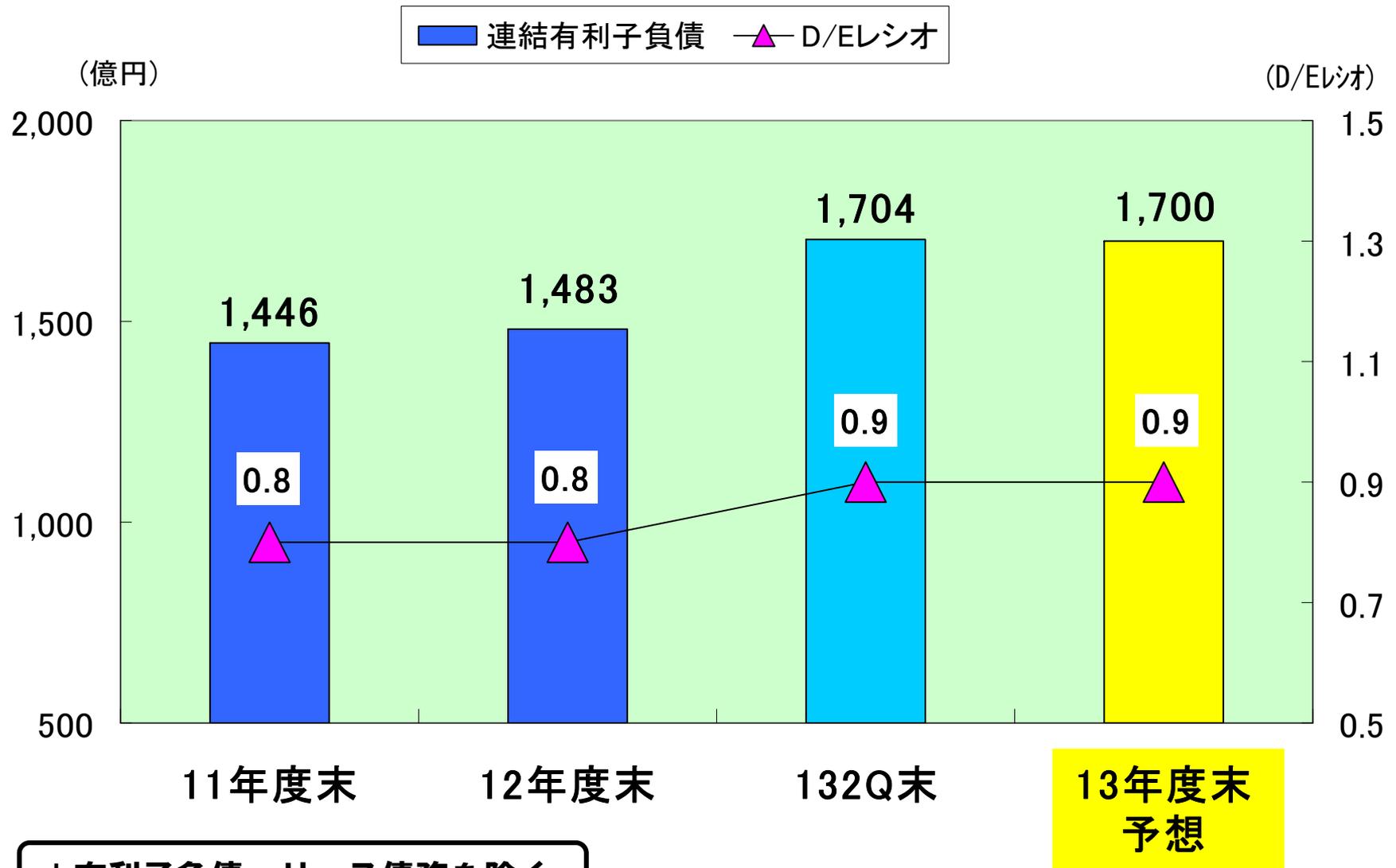
連結キャッシュフローの状況

(単位：億円)

摘要	12第2Q 実績	13第2Q 実績	12年度 実績	13年度 予想
営業活動による キャッシュフロー	131	34	472	80
投資活動による キャッシュフロー	△49	△136	△121	△260
財務活動による キャッシュフロー	△149	121	△48	120
有利子負債	1,347	1,704	1,483	1,700

*有利子負債：リース債務を除く

有利子負債、D/Eレシオ



*有利子負債：リース債務を除く

補足:連結 部門別

(単位:億円)

受注高

区 分	12年度第2Q	13年度第2Q	13年度予想
船舶海洋	1,073	753	4,500
機 械	358	431	1,400
エンジニアリング	292	502	1,800
そ の 他	119	163	300
合 計	1,841	1,849	8,000

売上高

区 分	12年度第2Q	13年度第2Q	13年度予想
船舶海洋	1,592	1,602	3,400
機 械	682	592	1,500
エンジニアリング	292	456	1,400
そ の 他	108	117	300
合 計	2,675	2,767	6,600

受注残高

区 分	12年度第2Q	13年度第2Q	13年度予想
船舶海洋	5,231	6,740	8,072
機 械	1,157	1,067	1,121
エンジニアリング	1,359	1,833	2,112
そ の 他	92	126	80
合 計	7,839	9,765	11,385

補足：子会社、設備投資、従業員等

受注・売上高
主要子会社

(単位：億円)

会社名	12年度第2Q		12年度		13年度第2Q		13年度予想	
	受注高	売上高	受注高	売上高	受注高	売上高	受注高	売上高
MODEC	840	856	3,427	1,869	308	1,073		2,200
BWSC	17	62	116	164	255	111		300

設備投資等

(単位：億円)

	12年度第2Q	12年度	13年度第2Q	13年度予想
	連結	連結	連結	連結
設備投資	44	126	102	110
減価償却費	81	163	72	
研究開発費	20	49	23	55

従業員数

(単位：人)

	12年度第2Q	12年度	13年度第2Q	13年度予想
	連結	連結	連結	連結
従業員数	10,014	9,881	9,986	

補足：14年3月期第2Q単体新造船受注内訳

(単位：隻)

船 種	受 注	引 渡	受注残
タンカー	0	0	0
バルクキャリアー	8	10	29
その他	0	0	9
合 計	8	10	38